

# LED FOGLAMP 5000T

トヨタ純正ハロゲンフォグ交換用・車種専用品

保安基準適合品

## 取扱説明書

この度は、KOITO 製品をお買い上げいただきありがとうございます。


**安全上のご注意** お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止し、安全にご使用いただくために、必ずお守りください。～必ずお守り下さい～


■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、下記の表示で分類し、注意しています。

**警告** この表示は、「死亡または重傷を負う危険が想定される」内容です。

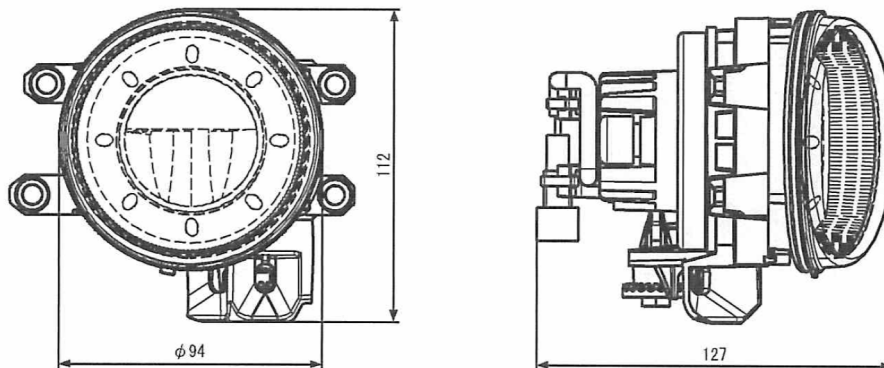
**注意** この表示は、「傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

 この絵表示は、特に気を付けていただきたい「注意喚起」事項を表しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」事項を表しています。

■ 製品寸法 (mm)



■ 構成部品

	部品名	数量
①	LEDフォグランプ (R)	1
②	LEDフォグランプ (L)	1
③	取扱説明書	1
④	保証書	1

### 〈目次〉

ご覧になりたい項目をクリックしてください。→





安全上の注意	2
使用上の注意	2
取付け上の注意	3
LED フォグランプの取付け	3
作動確認	3
取付け完了後の点検	4
復元作業	4

本商品を常に最良の状態でご使用・お取付けいただくため、本取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解された上で正しくご使用下さい。

- 本取扱説明書は、お読みになった後もお手元に置き、ご活用下さい。
- 下記警告・注意事項や取扱説明書の内容を守らなかったことが原因で発生した事故や傷害につきましては、責任を負いかねますのでご注意下さい。

## 安全上の注意

### ■警告■

-  ● 本商品を車両に装着する際は、必ずイグニッションと灯具のスイッチを OFF にしてバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行って下さい。  
感電するおそれがあります。
- 点灯中のランプを直視したり、間近で見つめると、高輝度の光により目が痛くなったり、視力障害の原因になったりすることがあります。
-  ● 引火する危険性があるところ（ガソリン・シンナーの付近等）で点灯しないで下さい。  
爆発や火災の原因となることがあります。
-  ● 本商品を落としたり、物をぶついたり無理な力を加えたり、キズをつけたりしないで下さい。  
破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。
-  ● 本商品の加工・改造（塗装等）は絶対に行わないで下さい。  
故障の原因となるだけでなく、感電や破損、発火、発煙の原因となり、大変危険です。

### ■注意■


- 本商品を車両に装着する際は、専門知識を必要とする場合がありますので、自動車整備工場もしくはカーディーラーで行って下さい。
- 安全のため、装着作業等行う場合は、清潔な手袋、作業用メガネを必ず着用して下さい。
- ランプ交換時は、必ず消灯し、エンジンルームやランプ等の熱を十分冷ましてから交換して下さい。
- 点灯中や消灯直後は各部品が熱いので、手や肌等を触れないで下さい。  
ヤケドの原因となります。
- 本商品は半導体部品 / 精密部品を使用しています。衝撃を与えたり磁力等に近づけないで下さい。  
故障の原因となることがあります。
- 幼児の手の届く場所に置かないで下さい。  
割ってケガの原因となることがあります。

## 使用上の注意

- 本商品は 12V 車専用です。12V 以外の車両には使用しないで下さい。
- 本商品の光源は LED を使用しております。電球タイプのように光源のみを交換することは出来ません。
- 本商品は自動車専用品です。自動車以外には使用しないで下さい。  
また、所定の適用用途以外で使用された場合の不具合等につきましては責任を負いかねます。
- 本商品を車両に装着する際は保安基準等、自動車関連法規に抵触しないようにして下さい。
- 装着時に対向車を幻惑させないことをご確認下さい。
- 停車中の連続点灯は避けて下さい。  
バッテリーあがりの原因となります。
- 本商品は、車種専用品です。適合車種以外には使用しないで下さい。
- 点灯中は灯具が大変高温となります。点灯中や消灯直後の洗車は避けて下さい。
- 走行中にヘッドランプが点灯しない、チラつく、異常な振動や音を感じたら、直ちに安全な場所に停車し、よく点検して下さい。  
(そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となることがあります。)
- 本商品を取付け後に衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付け部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちに使用をおやめ下さい。
- 汚れを落とす際は、中性洗剤を使用して下さい。溶剤を使用するとレンズ割れ等により、点灯不良となる場合があります。  
溶剤が付着してしまった場合、付着した溶剤を直ちに流水で洗い流して下さい。

## 取付け上の注意

■ 取付け作業は、専門知識を必要とする場合がありますので、自動車整備工場もしくはカーディーラーで行って下さい。

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スクリューの締め付けはスクリューにあった工具を使用して下さい。あわない工具を使用した場合、スクリューを傷めたり、しっかり固定できずに外れるおそれがあります。</li> <li>● スクリューは指定の締め付けトルクに従って締め付けて下さい。強く締め付けると車両部品およびスクリューが破損するおそれがあります。</li> <li>● コードはブッシング根元で急激に曲げないで下さい。急激に曲げた場合、ブッシングに隙間が生じ、水・ホコリが侵入するおそれがあります。</li> <li>● 吸排気孔のキャップは外さないで下さい。外した場合、水浸入により故障となるおそれがあります。</li> </ul>
---	--

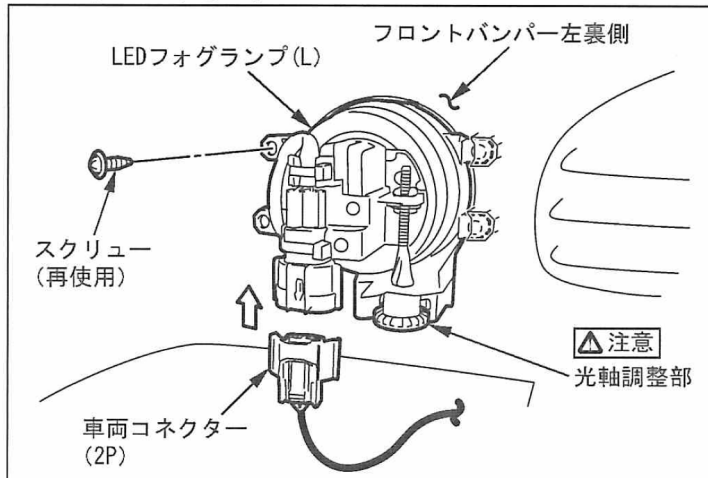
## LED フォグランプの取付け

- 1) フロントバンパーを取外して下さい。
- 2) 車両フォグランプの車両コネクター (2P) を取外して下さい。
- 3) スクリュー 1 個 (再使用) を取外し、車両フォグランプを取外して下さい。

※ スクリューの数は車両によって異なります。

※ 車両から取外したスクリューは、LED フォグランプの取付け時に再使用しますので、大切に保管して下さい。

※ LED フォグランプは、車両フォグランプと同様に取付けできます。取外し前の車両フォグランプ取付状態を、覚えておいて下さい。




- 4) 車両フォグランプ取外し手順の、逆手順で LED フォグランプを取付けて下さい。

※ 締め付けトルク : 1.96N.m

- 5) LED フォグランプに車両コネクター (2P) を接続して下さい。


※ 左図は左側を示しますが、右側も同様に作業を行って下さい。

- 6) フロントバンパーを仮復元して下さい。

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● LED フォグランプを取付ける際、上図の光軸調整部を回転させないで下さい。回転させた場合、光軸を正常な位置に調整できないおそれがあります。</li> <li>● 上図は取付け参考例となります。実際の車両で、車両フォグランプの取付状態と同様に取付けて下さい。</li> </ul>
---	--

## 作動確認

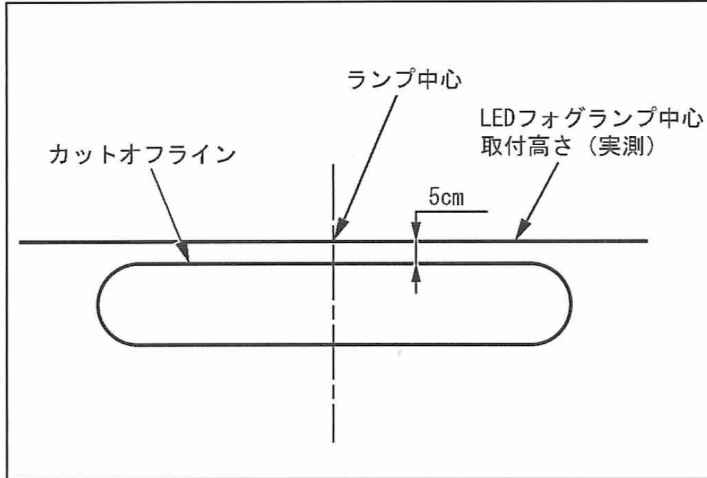
- 1) バッテリーの (-) 端子を接続して下さい。
- 2) 車幅灯を点灯して下さい。
- 3) フォグランプスイッチを ON にして、LED フォグランプが点灯することを確認して下さい。

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作動確認は、必ず車両を水平な場所に停車させパーキングブレーキを踏み、輪留めを確実に行った上で作業して下さい。</li> </ul>
---	--

## 取付け完了後の点検

### ■ 光軸調整（配光確認）

光軸が前方 40m 以上を照射しないように調整して下さい。

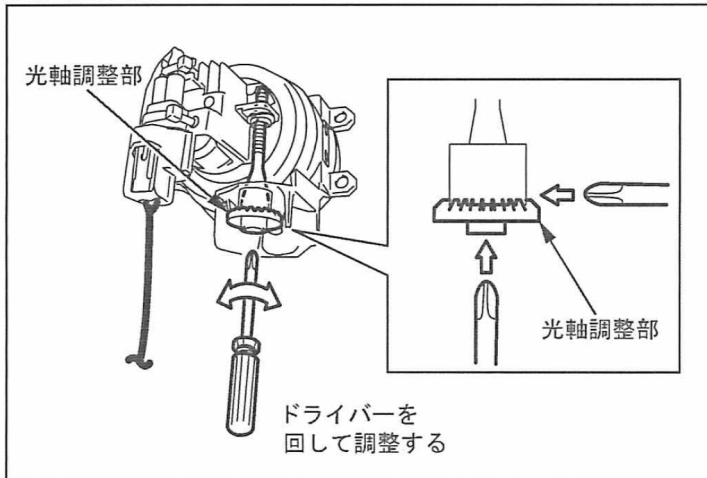


- 1) ヘッドランプスイッチを ON にし、フォグランプスイッチにより LED フォグランプを点灯させて下さい。
- 2) タイヤ空気圧を正規に調整して下さい。
- 3) 運転席に 1 名乗車して下さい。
- 4) LED フォグランプの光を 3m 前方のスクリーンに投影して下さい。
- 5) 実車にて LED フォグランプ中心位置を実測して下さい。
- 6) 左図の位置にカットオフラインが合うようにドライバーで調整して下さい。

#### アドバイス

スクリーン投影寸法は図面上の数値であり、参考として使用して下さい。

### ■ 調整方法



LED フォグランプの光軸調整部に、ドライバーをあてて、調整して下さい。  
※左図は左側を示しますが、右側も同様に作業を行って下さい。

### ⚠ 注意

- 光軸調整は、必ず車両を水平な場所に停車させパーキングブレーキを踏み、輪留めを確実に行った上で作業して下さい。
- 光軸調整は、必ず 1 名乗車して行って下さい。  
1 名乗車して行わなかった場合、光軸を正しく調整することができません。
- LED フォグランプ点灯中は、灯体が熱くなります。手袋等を使用し、十分注意をして作業を行って下さい。

## 復元作業

- 1) 取外した車両部品を元通りに取付けて下さい。
- 2) ハーネス類の噛み込みおよび、車両部品の取付けミスがないかもう一度確認して下さい。
- 3) ヘッドランプ等、電気系統に異常がないか確認して下さい。

### ⚠ 注意

- 復元時に車両ハーネスを噛み込んだり、シャープなエッジに干渉したり、車両部品を破損させないように十分注意して下さい。
- バッテリーの復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には、必ず初期化作業を行って下さい。